

# 品人 店技

—ファイル14—

## 有限会社 佐々木時計店

横手市四日町3-1  
TEL.32-0507 FAX.33-2460

【創業】 1895年4月  
【資本金】 300万円  
【従業員数】 2名  
【営業時間】 9:30~18:30  
【定休日】 第1、3木曜日  
【取扱品】 時計、メガネ、宝飾品



### プロフィール

ささき いちろう  
**佐々木 一郎**

昭和3年3月7日  
役職名:会長  
趣味:ジョギング、ゴルフ、ダンス  
横手市生まれ

いつお会いしても「ここに」「笑顔の絶えない会長さん。現役を退かれても、瞳を輝かせいききされているその訳は？今回は(有)佐々木時計店さんをお訪ねしました。

今年暖冬で雪が少なかったのに、この日は朝から雪。

こんにちは！

お店に入ると社長さんが会長さんに取り次いで下さいました。早速二階へ通していただき、会長さんのあの笑顔に会えました。スタッフとも顔見知りのため和気藟々の中で取材開始です。

今は時計や眼鏡が主のようですが、以前はレコードも扱っておられましたよね。

お店の名前も確かレコード店だったと記憶しておりますが。

そうそう、佐々木時計レコード店でしたよ。

昔はレコードを回す蓄音機がゼンマイで動いていたんですよ。蓄音機の修理はゼンマイを直せない扱えないのです。

だから時計の修理、つまりゼンマイの修理ができる時計店がレコードを扱っていた訳です。

なるほど。

確かに奥さんのおっしゃるとおり前向き思考のようです。

こうした趣味も、ご家族の協力、理解がなければできませんよね。

家族には本当に感謝しています。家族みんなが健康でなければごうもできませんね。

まだまだ趣味があまりでは？

グランドゴルフもとにかく研究します。毎日の練習の反省を書くんですよ。メモ書きでいっぱいになります。その結果、自分のスタンスを決めてから楽しむようにしています。

なるほど。こんなに趣味が多いと毎日忙しいですね。



▲クロスカントリーのスキー

気持ちは四〇歳くらいでも体はそうではないし、自分の体と相談しながらやっていますよ。若いときと同じようにはいきませんから。それと三年前から書道を始めました。今は「般若心経」を毎日書いています。書きなが



▲本格レース用自転車も2台

ら「無」になることができないので

今後またやってみたいことはありますか？

喜ですね。

まだあったあ！

生き生きの源がだんだんわかつてきました。とにかく前向きなのです。他にもゴルフやボウリング・スキー・自転車とあるある...とても書ききれません。

今日は貴重なお話、大変ありがとうございました。

何を話されても笑顔が絶えない会長さん(笑)。私たちも大先輩の会長さんを見習って、これからの人生、何事も前向きに笑顔でゴー！

時代が代わって蓄音機がゼンマイからモーターに代わるとラジオ店がレコードを扱うようになりましてね。今ではレコードがCDやMDに変わりましたしね。

失礼ですが、現役を引退されると、どうしても年寄ってしまうイメージがありますが、ますますお元気で若いには、何か秘訣があるのでしょうか？

秘訣はね、趣味をもつことですよ。

と酒面の笑顔！

どんな趣味をお持ちなんですか？

(あー走っている。社交ダンスしている。と気づくスタッフ)

三十四歳の頃からマラソンを始めました。走り始めたきっかけは太りすぎたためです。毎日走っていると不思議なことに、段々にタイムが良くなっていく。そうすると大会に出たくなっていく。で現在まで続いています。



今までのどんな大会にでられましたか？

田沢湖マラソンや青梅マラソン。ハワイのホノルルマラソンにも何回か出場しましたよ。

エー！驚きのスタッフ

他にも趣味がありますよね。



▲ホノルルマラソン完走の証

ジャズが好きで、社交ダンスを始めたのですがなかなかステップが覚えられなくて、NHKの番組をビデオに撮り勉強しました。(笑)



▲ダンスを練習するために録画したビデオテープ

何にでも一生懸命で、とことん突き詰めていくのですね。

奥様が隣で、一努力家です。考えが何事も前向きなのです」とおっしゃいました。

生き生きと生活していると、ストレスはありませんか？

なし！

きつぱりと答える社長さん！スタッフ一同納得。

悩んだところで何ともならないことは、最初から悩まない方がいいですね。

その当時、横手では時計・レコード店が三軒しかなかったたので、レコード店は独占事業でした。ねレコード会社と契約していないと販売できませんでしたから。

昔を懐かしんでいる様子

会長さんは何代目なのでしょう？

私は三代目です。創業が明治二十六年で羽後銀行(現在の北都銀行)さんと一緒の年です。よ。戦前は時計なんて限られた人しか持たない時代だったし、先代は雑貨なんかも扱っていたようですよ。のどかだったと思いますよ。商売も今とは大きく違いますからね。

その当時は注文した「レコード」が入ってくるのが売れてしまったし、時計も仕入れてくると全部売り切れる時代でした。汽車に乗って、リュックいっぱい背負って仕入れてくるのですが、難儀してもそれだけ報われた時代です。

難儀しても楽しい商売だった訳ですね。